

## 西成区長タウンミーティング議事要旨 (玉出中学校)

### 【日時】

平成25年2月21日(木) 午後7時～午後9時

### 【場所】

玉出中学校 体育館

### 【臣永区長あいさつ】

タウンミーティングは、全6回、各中学校区で行っている。今日で5回目である。私や区役所からのご説明は、できるだけ概略のみとさせていただき、皆様の本音あるいはご意見などをお伺いしていく時間をできるだけ多くとりたいと思っている。毎回来られている方もおられますが、同じ方の発言はなるべく控えていただきたい。あるいは、テーマが同じものは譲っていただけたらありがたいと思う。よく議論ができなかったことや、多くご意見をいただいたものについては、整理をした上で、もう一度ご説明する場を設けたいと思っている。決してこれで終わりではないので、ご理解いただきたいと思う。

### 【区役所からの今後の区政方針について説明】

- ・ 西成区の現状を統計数字で説明。
- ・ 平成25年度予算(案)
- ・ 平成25年度西成区運営方針(案)
- ・ 西成区将来ビジョン(案)
- ・ 西成特区構想
- ・ 行政区のブロックの区割り試案

### 【参加された皆さまからの主なご意見】

- ・ 住吉市民病院について、地元ではなくなったら困るので、説明会を開いて欲しいと再三区長に要望に行ったが、説明会を開くとお約束をいただけなかった。タウンミーティングで言ってくださいと言われたので、ずっと参加しているが、思うような回答をいただけていない。病院は、少子化対策や災害のときの拠点になるので残して欲しい。住之江では説明会をしているので、タウンミーティング終了後、懇談会を開催すると約束をしていたかどうか、質問させていただきたいと思う。
- ・ 住吉市民病院の廃止の問題について、区長はどのように問題意識を持っているのかお聞きしたい。

- ・ 住吉市民病院は、二次救急で、一般の患者も受け入れているが、府立病院は、三次救急なので救急が優先される。府立病院と住吉市民病院が合併したら、今までどおりの受け入れが十分できるのか非常に疑問に思う。
- ・ 住吉市民病院は、前の市長の時代に市議会でも現地で周産期と小児科に特化して建替えると決定されているのに、突然廃止ということは納得がいかない。
- ・ 西成区ではお産ができる施設が全くなく、府立病院になると利用しにくい位置になる。
- ・ 高齢者の就労人口にしめる割合と、現行23.5%の生活保護率を、例えば5年後、どれぐらいの目標値にしていきたいと考えているのか聞かせて欲しい。
- ・ テレビ番組などで、生活保護がどうのこうのというとき必ず西成区が出てくる。他県では、「生活保護受けるんやったら西成に行け、片道切符やったら渡す」ということを聞いたことがある。子どもがずっと西成区に住み続けたい、僕らが生まれ育ったまちがずっと続いていきたいというのが望みである。
- ・ 西成のイメージについて、生活保護を受けている方が保護費をもらったら、すぐにギャンブルなどに使うことが全国放送で流れることで悪いイメージになっている。こういう方は、西成に行ったら生活保護をもらえるよと言われて来た方である。こんなことなら、例えば、西成に何千億かの補助があってもおかしくはないと言いたくなる。生活保護は必ず必要なものと思うが、西成のイメージが悪くなるのは、ずっと住んでいる者からすると納得できない。
- ・ 学校のクラブについて、ものすごく減っていて選べない状況と聞いた。中学生とかだったら一番体を動かす時期だと思うが、行きたいクラブがなかったら動かすことができない。区として、教育支援という点で目を向けていただきたいと思う。
- ・ 基礎学力アップ事業について、どこで誰が行うのか教えて欲しい。授業を開始した瞬間に全員がそろっていない状態である。教育支援に取り組むのなら、ただ勉強させるとか塾代を出すというだけでなく、学校で勉強する態勢に入れるように、子どもの生活支援のためのお金とか人とかを補充するような形で向けていってほしいと思う。
- ・ 南津守は、人口の増加で児童も増加しているが、他の地区と同様に核家族化が進んで、子どもと一緒に住まない世帯が多くなって、高齢化とともに家屋も老朽化して空き家が多くなっている。提案として、西成特区構想で独居老人防止対策を進めていただきたい。具体的に、親子3世代で生活しようと、例えば、同居する子育ての世代へ住民税などの優遇措置を行うとか、リフォーム費用を助成するとか、あるいは、地震が起こると不安なので空き家を含めた家屋の実態調査をして、建築基準法に照らした適正な行政指導を徹底して行い、親子3世代が同居する住宅建設へとつなげたりしたらどうか。
- ・ 私は西成のまちを変えていく、担っていくのは今の子どもたちなので、もう少し、「子育て」のことを考えていただきたいと思う。

- ・ 本当に学力の必要な子どもたちが学力をつけるためには、今のバウチャーだけでは無理で無償にする必要があると思う。
- ・ 学力をつけるよりもっと大事なのは、自己肯定感を持てるような子どもをつくっていくことだと思う。
- ・ 「子育て」に一番必要なのは子どもの居場所である。子どもは遊ぶことが仕事だから、子どもの遊びが徹底してできる場所が絶対に必要だと思う。
- ・ 今、子どもたちは非常に生きづらさの中にいるので、その生きづらさを言える場所が絶対に必要である。ぜひ、今の子どもたちの施策のことをもう少し考えていただきたいと思う。
- ・ 区役所が主催する会議は、子育て世代にはとても出にくい時間にいつも開催する。子育て世代の意見を聞こうというのであれば、出やすい時間にも開催していただけたらと思う。
- ・ 子どもの教育に関して、塾を重視しているようなところが多い。子どもたちは学校にいる時間を有効に過ごすことが大事だと思うので、学校での教育をもっと有効に使い、基礎学力の向上につなげる方向で考えてはどうかと思う。
- ・ 子どもが不安を持ったときに相談できる場所が本当に少ない。学校にはスクールカウンセラーが配置されているが、数が少なく、また、ソーシャルワーカーのほうがいろんな相談ができる。ソーシャルワーカーが必要ではないかと感じているが、配置の計画があればお聞きしたいと思う。
- ・ 公立幼稚園の民営化についての区の方針としては、未利用地の売却を行っていくなっているが、未利用地のほとんどは区の北西部のほうにあるので、そこで子育て世帯向けの住宅供給を進めていくことになると、その辺りには津守幼稚園がある。津守幼稚園の活用方法もあるのではないかなと思う。
- ・ 前回のときに公立幼稚園の民営化については、区長が判断なさるとお話を聞かせていただいた。その判断が一体どういうふうに表示されるのかお伺いしたい。
- ・ 幼稚園に関しては、文教学区的なところを西成区で目指していこうという中で、幼児教育についてのお考えを聞きたいと思う。
- ・ 4月に幼稚園の廃園の発表があるそうだが、発表がある前に区民の皆様と、あるいは、幼稚園の保護者や子育て世帯の皆様と、区長との対話をぜひ実現していただきたいと思う。
- ・ 塾代助成事業に関しては、どう成果を見ようとしているのか、あるいは、どれぐらいのものを目標としているのか、子ども青少年局へ聞いたが、また回答させていただくとなっている。西成区としても、どう評価できるのか、また、子ども青少年はどう考えているのかといったことを情報発信していただきたいと思う。
- ・ 小学校や中学校に対して、今後どういうことを期待したいのか、また、どういうことを支援していこうと思っているのかなどをぜひ聞かせていただきたい。
- ・ 玉出商店街出入口のところの横断歩道について、渡るときに自転車が勢いよく斜め

に走ってくるので、商店街の出入口に棒を置いて欲しい。

- ・ 玉出の公設市場跡で非常に困っている。衛生面では、ネズミとイタチが運動会をやる。それと老朽化が進み、建物の側壁が倒れてきたりして危険である。経済局の建物なので、言うと、防球ネットなどを応急処置で張ってくれるが、大阪市が安心・安全のまちづくりを皆さんにお願いしてるのに、20年近く空き家で置いているのはどうかと思う。この地区は市の都市計画決定の網かけをされている。そうすることによって何にもさわることができないと逃げているのではないかと考えてしまう。今回特区になって、区長が判断することに決まれば、何かの方法を地域の皆さんと一緒に考えていただきたいと思う。
- ・ 西成のイメージアップのためにツイッターなどで西成のことを発信してはどうかと思う。
- ・ 平成25年度西成区運営方針（案）の区の目標を達成できたかどうかの効果をどのように検証するのか。数値目標や期限があれば、あわせてお示し願いたい。
- ・ 運営方針の中で経済についての記述がないのが少し気になった。西成区の地域経済の活性化と市税収入増に向けた施策があれば、お聞かせ願いたい。
- ・ 現在の西成区の市税収入は、24区中何番目の位置にあるのかお聞かせ願いたい。
- ・ 西成区の活性化のために我々西成区の事業者の力もぜひ活用していただければと思う。ともに頑張りましょう。
- ・ 公園について、遊具がどんどんなくなっているのので、遊ぶ遊具をつくって欲しい。新しい遊具について、小さい子用の遊具に180センチ以上の雲梯がついている。同じ遊具が他の公園でも見られる。どういう設定で遊具を選んでいるのかなと思う。体力低下と言うが鉄棒もない。メンテナンスの問題とか事故の問題で、いろいろ減っていると思うが、鉄棒ぐらいだったらもうちょっとつくれるのではないかなと思う。

#### 【区役所からの発言】

- ・ 高齢者の就労人口については、今持ち合わせていないので、後日ホームページに掲載していきたいと思う。
- ・ 西成区の生活保護世帯というのは60%近くが65歳以上の方である。その中でも95%以上が単身の方であり、今後、高齢者が増えていく中で保護率が下がるとことは難しいと思う。しかし、決して生活保護をずっと認め続けているわけではない。就労指導などを行い適切な対応を行っているので、保護世帯数はこの1年間で少し減少した。

ただ、言われるように、昼間から酒飲んでうろうろしたり、道路で寝ているなどの悪いイメージあるのはよく分かっている。昼間の居場所や生きがい、あるいは地域とのつながりといったものをつくっていく方向で考えている。25年度予算にも少しずつ取り込んでいるので、また地域の皆様にもボランティア活動のご協力などをお願いしたいと思っている。

- ・ クラブ活動への支援については、クラブ活動の先生を確保するために「学校元気アップ地域事業」を中学校で行っている。西成区は6校中2校が先行で実施しており、25年度から全中学校で実施すると聞いている。実施方法については、学校長が教育委員会に相談しながら実施していく事業なので、教育委員会のホームページを見ていただければと思う。区役所からも情報提供させていただきたいと思う。
- ・ 基礎学力アップ事業については、現在、鶴見橋中学で検討している。学校の中に塾を持ってきて勉強を行うが、もし他校でも実施してもいいと言っていたら、順次やっていきたいと思っている。
- ・ 3世代同居にかかる税の優遇などについては、西成特区構想で議論されているが、ここ2年間、西成区内ではファミリーマンションが建っていない。将来的には必要だと思うが、現在は、短期集中的な課題に取り組むことがまず先決と思っている。
- ・ スクールソーシャルワーカーについては、中学校で大阪市に5人しかいないということなので、西成特区構想の中でも、西成に優先的に配置していただきたいという提言はされている。引き続き頑張っていきたいと思っている。
- ・ 現在、生活保護世帯の貧困の連鎖を断ち切ろうということで、支援員を24年度から置いている。これは、民間業者に委託して中学3年生を対象に高校就学支援を行っている。塾バウチャーについては、3割しか利用しないという実態もあるので、更に広報活動を進めていきたいと思っている。今回、鶴見橋中学で始まるバウチャーを利用した補習事業を各中学校の空き教室などを利用して、学力アップに努めていきたいと思っている。
- ・ 横断歩道については、国道事務所や警察など関係機関へ相談して、有効な手段を考えたいと思う。
- ・ 公設市場の老朽化については、建築基準法に基づいて大阪市役所の建築指導部が持ち主に対しての指導を行うことが中心となる。区役所としては、身近な住民の方から情報をいただいたものを大阪市役所へ伝え、対応をお願いしている状況である
- ・ 西成区のイメージアップのためにツイッターなどを活用してはどうかとご提案いただいた。区長はツイッターで日々つぶやきをしているが、役所は、民間に比べて遅れているのも事実である。今後、可能なかぎり新しいツールを活用しながら、イメージアップを図っていきたいと考えている。
- ・ 運営方針について、ご説明したのは概要なので、大変申しわけないが、細かい数値目標などの中身については、区のホームページをご参照いただければと思う。
- ・ 市税収入については、具体的に税収を上げるということは、なかなか難しい。経済を活性化させるためにイメージアップを図るなど、間接的なことが区役所ではできることではないかと考えている。
- ・ 市税収入の順位については、24区の中の順位ということではないが、人口1人当たり、24区の平均で言いますと23万5,000円のところが西成区では7万8,000円という、経済的な指標で言うと、非常に低いというのが実態であると出ている。

- ・ 公園の遊具については、公園事務所に聞いて、ミスマッチな点などがあれば、また具体的に話も進めていくこともあると思う。

#### 【区長からの発言】

- ・ 住吉市民病院の件については、これで5回目となる。説明会を開かないと言っているのではなく、統合した病院の姿をきっちりと説明ができなければいけないと考えている。納得がいく回答をするまでずっと質問すると言われてしまうと、どうしようもできない。病院をどうするかについては、市議会の中で住民の意見を酌んでいただき議論をしていくことができる。その市議会議員を選ぶのは皆様方ご自身である。市長からも、皆様に一番近い区長が意見を聞いて私に伝えなさいと言われていた。ただし、住吉市民病院の件に関しては、市長が決めると言っている。6回のタウンミーティング終了後、今まで皆様からお伺いしたご意見をもう一度整理して、幾つか重点項目を上げてお答えする機会を設けたいと思っている。ご説明が不足でしたら、タウンミーティング終了後に説明させていただくので、ひとまずはこれで終わらせていただきたい。
- ・ 確かに、西成区に対するイメージなり先入観なり色々あると思う。去年の8月に西成へ来て、最初はちょっと肩に力が入っていたが、今では、このまちの人情の深さが本当によくわかる。ただし、この懐が深いまちがゆえに、様々な矛盾が集まってきたと思う。確かに、そんな矛盾を押しつけるのだったら、何がしかのものを出すべきではないかというのは確かにあると思う。だからこそ、この機会に市長は、西成をひいきで引き倒してもいいのではないかと、西成が変わったら大阪府も変わっていくし、西成が元気になっていけば大阪が元気になって日本が元気になるのではないかと、特区構想を提案したわけである。一朝一夕には変わらないけれども、将来の子どもたちのために少しずつ変えていく作業が必要だと思う。
- ・ 中学校のクラブが減っていることについては、現在、西成区の特色のある子育て環境ということで、大阪フィルハーモニーやセレッソ大阪など、西成区ならではの良い文化もあるので、学校の中だけではなく、様々な社会的な活動も含めた教育環境、社会性が育つ環境をつくっていかねばならないと思っている。
- ・ 小・中学校を回って意外だったのが、こんなに近くにこれだけ学校があるのはびっくりした。校長先生などと話して、反復学習をすることにきっちりと学習する生活習慣とかをつけることに苦慮しているということであった。試みとして、中学校1校で、学校の中に塾を持ってきて、学校で塾の勉強ができるという基礎学力アップ事業を行うことを予定している。これは、バウチャー制度もうまく活用して、基本的にはお金かからない仕組みになっている。他の先生方も、実施した結果を見ながら検討してみたいと言っていたので、チャレンジしていきたいと思っている。
- ・ 3世代が暮らす笑顔のまちづくりというのを提案していけばどうかにつきましては、そのとおりだと思う。西成区は老朽化した住宅も多いので、何か対策を立てていか

なければいけないと思うので、大阪市の担当とも話をしていきたいと思う。市を飛び越えるわけにはいかないが、区民の皆様が主役のまちづくりのために市と一緒にやっていきたいと思う。

- ・ 「子育て」ではなく「子育て」支援については、本当に子どもたちが今、しんどい環境に置かれている中で、子どもたち自身が自分を肯定的に捉えて、いきいき生きていける環境づくりをしていかなければいけないと思う。それが、西成のイメージを少しずつ変えていくものになっていくと思う。
- ・ 幼稚園については、現在、区長会の中で色々議論しており、大阪市の方針として民間でできること、また、民間の幼稚園の空き人員が多くあるので、民間でやってもらったらいいのではないかという意見が多く出た。しかし、民間は、支援の必要な子どもなどはなかなか預かってもらいにくいことがあるのではないかということで、一概には言えないということも話をしている。
- ・ 保護者の方などを不在のまま進めていいのかということや、子育て世代の参加しやすい時間帯に開催してみたり、また、意見を聞く機会を持つべきだということは、全くそのとおりだと思う。前回までのタウンミーティングでもご意見をいただいたので、今度、小学校のPTAのミニ懇談会に参加することを決めた。できるだけ現場に即して皆様の意見を聞いてこいというのが市長のからの指示でもあるので、聞いていきたいと思っている。